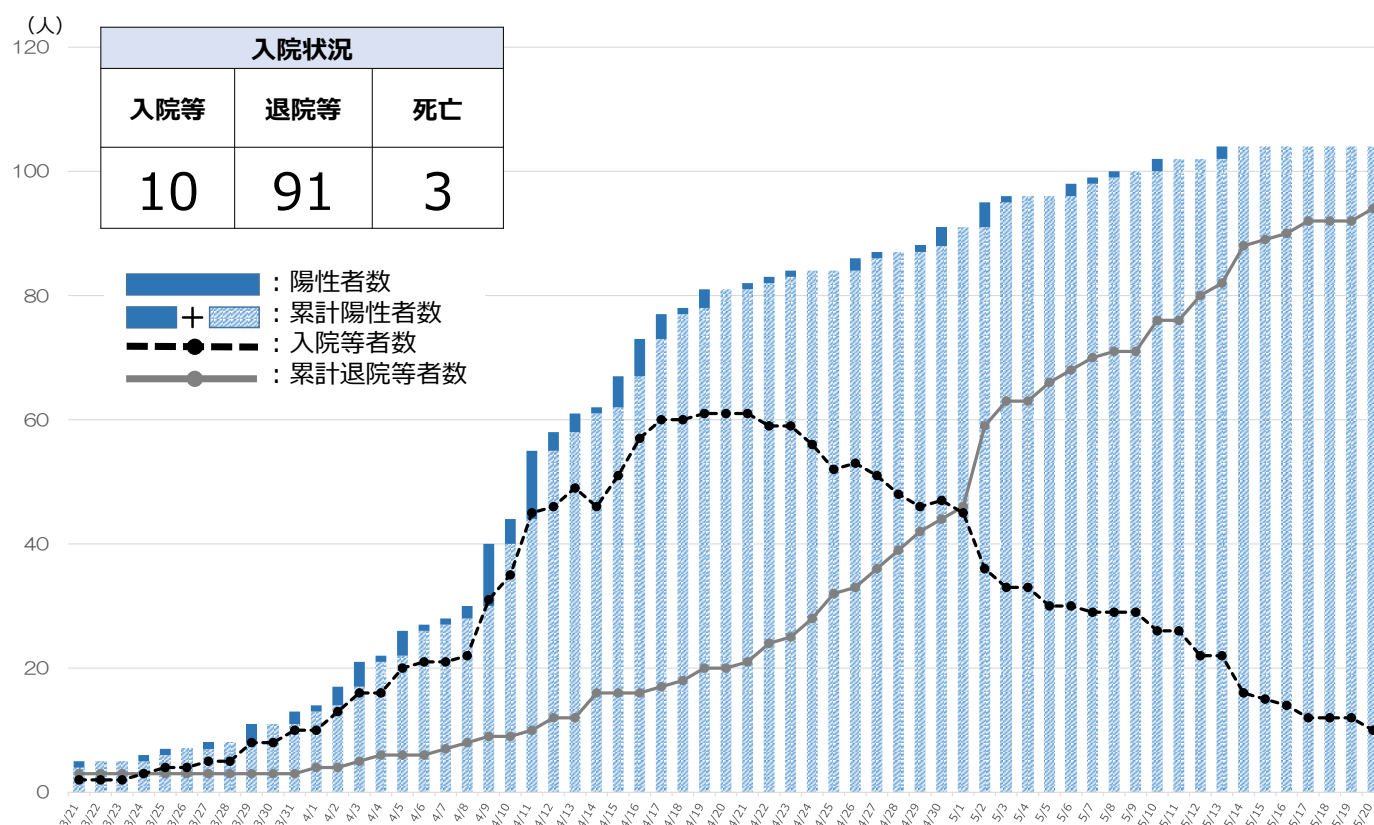
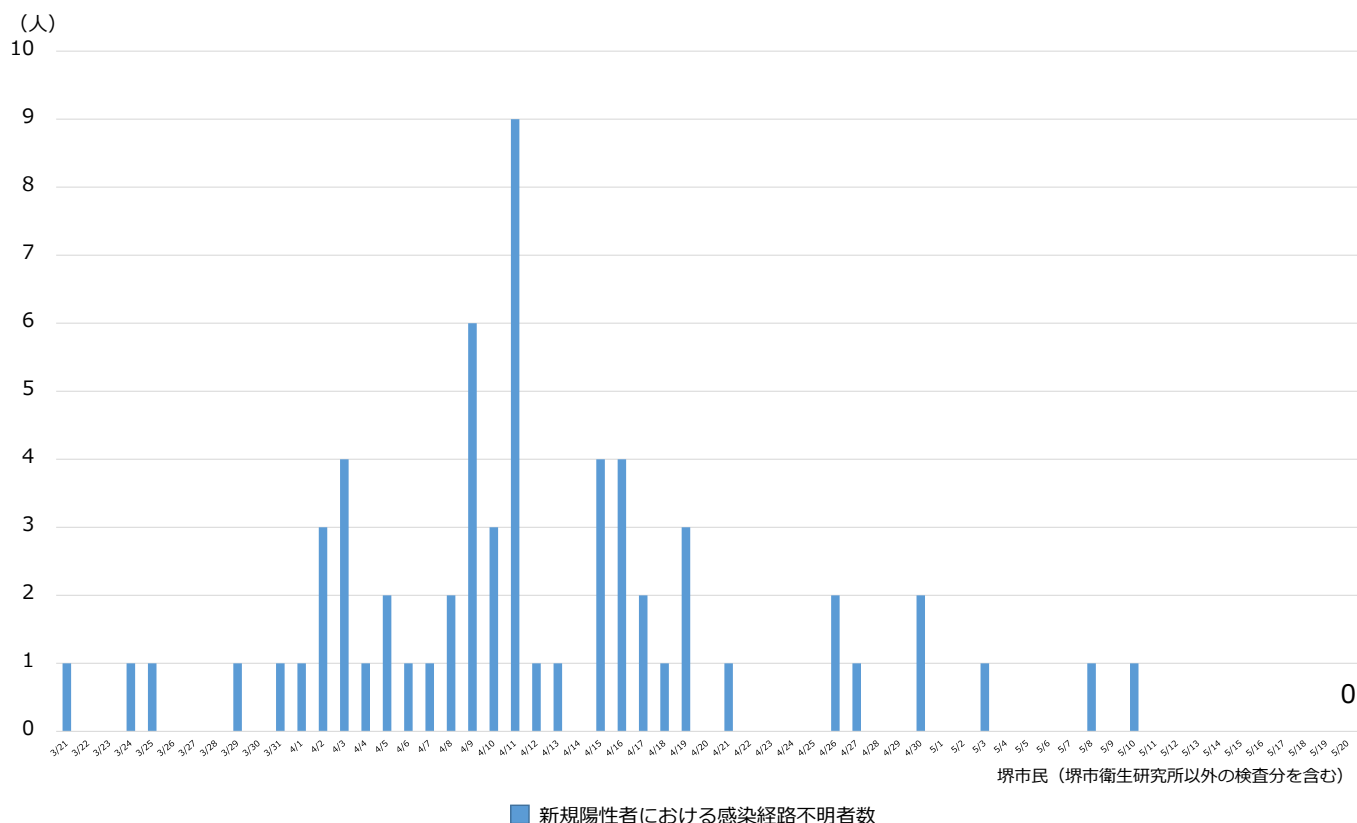


- 市内の発生状況
- 新規陽性者における感染経路不明者数（日別）
- 確定診断検査における陽性率
- 直近1週間の10万人あたり新規陽性者数（累積）

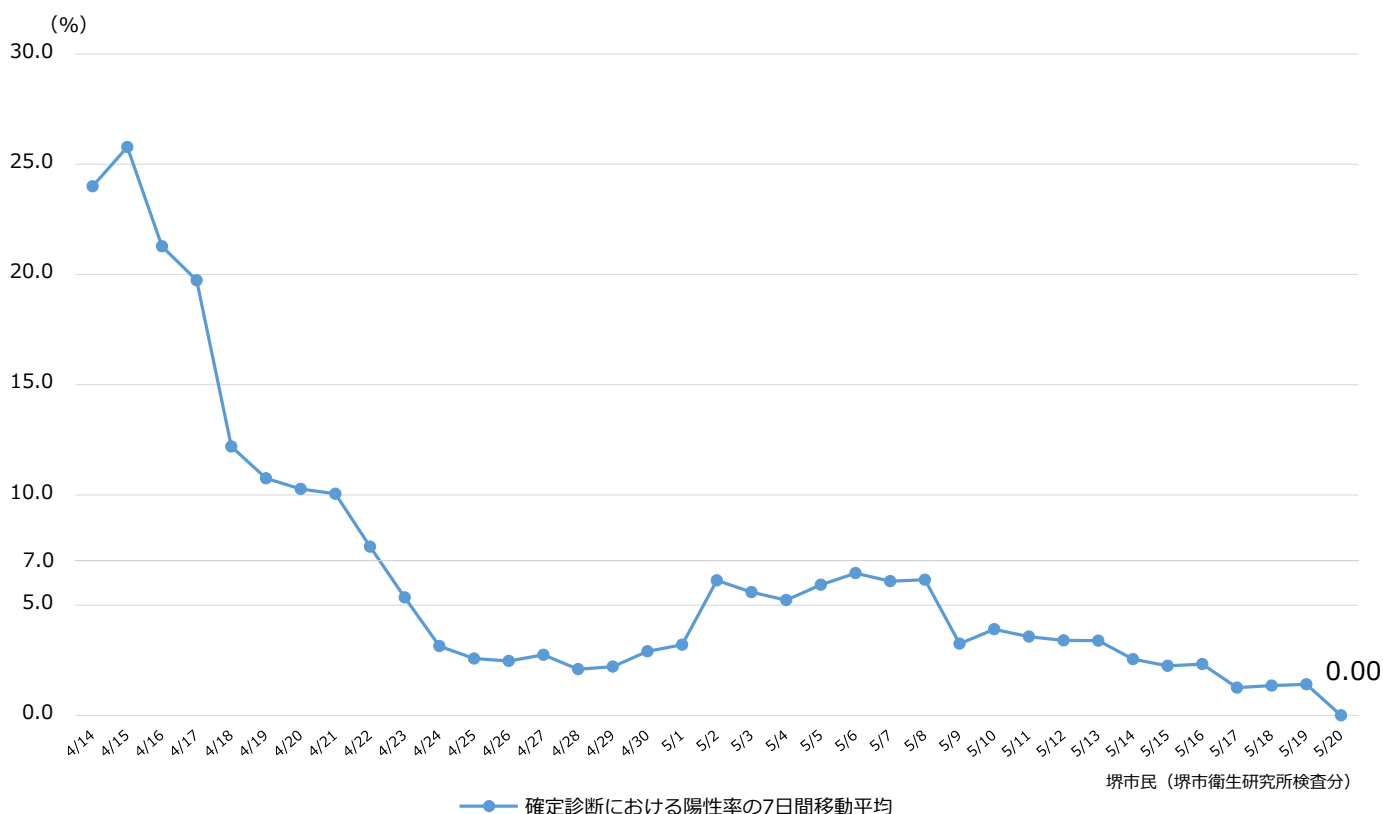
市内の発生状況



新規陽性者における感染経路不明者数（日別）

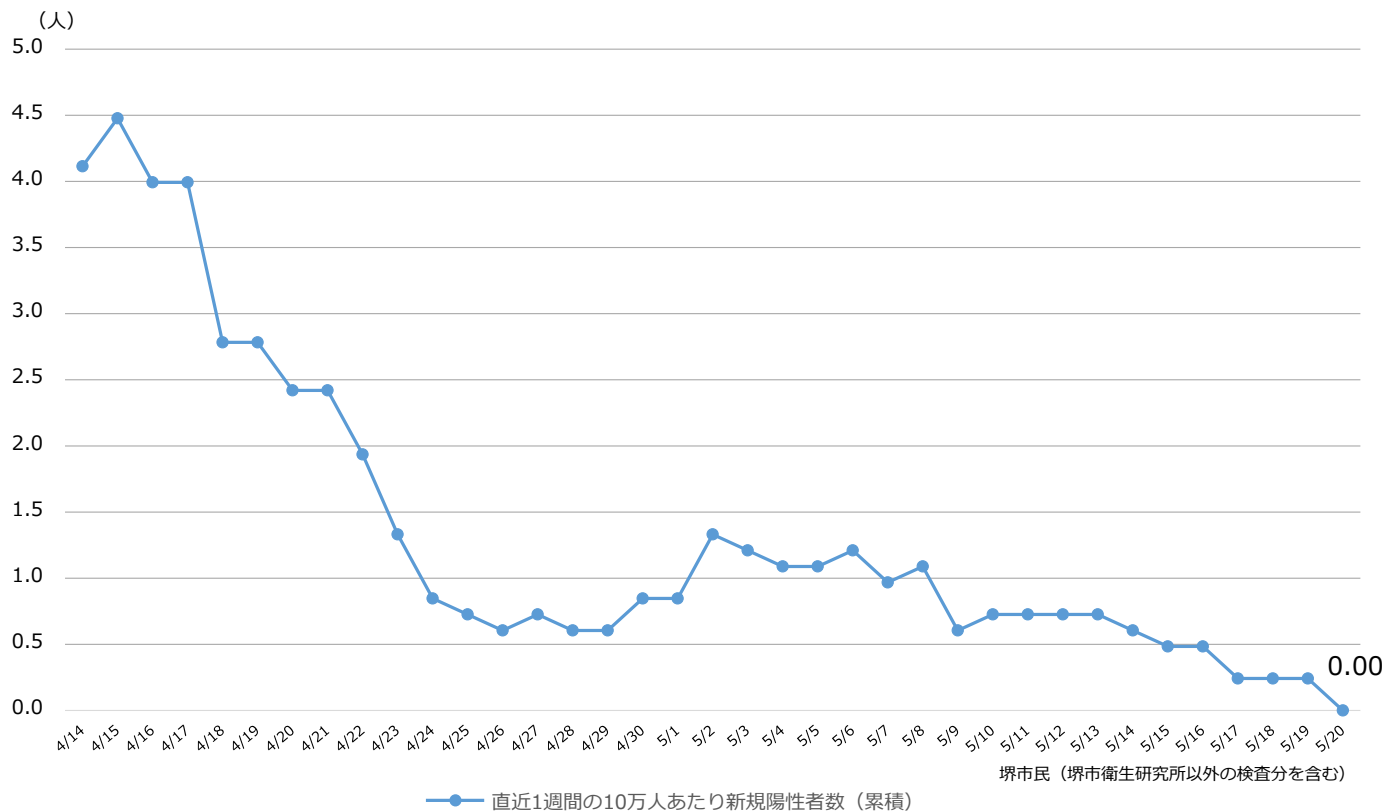


確定診断検査における陽性率



例) 5月7日陽性率 = $\frac{\text{5月1日～7日の陽性者合計}}{\text{5月1日～7日の検査者合計}} \times 100$

直近1週間の10万人あたり新規陽性者数（累積）



例) 5月7日陽性者数 = $\frac{\text{5月1日～7日の新規陽性者合計}}{\text{令和2年4月1日現在 堺市人口 826,481 人}} \times 10\text{万人}$

令和2年度一般会計補正予算の概要



新型コロナウイルス感染症への対応

- 感染拡大防止のための支援 447,672千円
(うち、堺市独自 222,703千円)
- 市民生活の支援ほか 2,099,661千円
(うち、堺市独自 27,146千円)

【現状への対応】

- 在宅ケア継続支援体制の整備
- 通所サービス事業継続のための支援金の給付
- NPO法人への臨時支援金の給付（補正予算対象外）

在宅ケア継続支援体制の整備

介護する家族が感染したとき
要介護者が安心してケアを受けられる体制を構築

① 在宅で継続ケア

② 在宅ケアが困難

ショートステイ

ホテル

訪問介護・訪問看護

感染防止コーディネーターによる指導・助言



	通所サービス事業者等	NPO法人
給付額	1法人につき25万円（上限）	1法人につき5～15万円
主な要件	介護・障害児者通所サービス事業所を運営する法人等	保健、医療、福祉、子育て分野で活動している法人
	4月または5月の収入が前年 同月比で25%以上減	
申請開始	6月上旬	
給付開始	6月下旬	6月中旬

【第2波に備えて】

- 1人1台ノートパソコンの整備 579,798千円
- マスク等の物資の備蓄 210,229千円

【内訳】

- ・避難所における感染症対策用備蓄物資 94,191千円
- ・災害等に備えた備蓄用マスク 70,850千円
- ・職員・医療機関用の医療用物資 45,188千円

特別職の給与減額

	現行	改正後
市長	30% →	45%
副市長	15% →	30%
教育長	7% →	9%
常勤監査委員・ 上下水道事業管理者	5% →	7%

新しい生活様式の実践

日常生活の各場面の生活様式

買い物のとき

少人数で素早く済ませる
サンプルや展示品への接触は控えめに
レジに並ぶときは前後にスペースを
通販も利用

スポーツするとき・遊ぶとき

ジョギングやウォーキングは少人数で
公園を利用するときはすいている時間、場所を選ぶ
すれ違うときや通り過ぎるときは、距離をとるマナーを
筋トレなどは自宅で動画を活用
狭い部屋で長時間過ごさない
歌や応援はオンラインをうまく活用

食事のとき

テイクアウト、デリバリーを活用
大皿で取り分けるのは避ける
回し飲みは絶対に避ける
対面ではなく横並びで座る
会話はいつもより控えめに

交通機関を利用するとき

電車やバスの中では会話を控える
混雑する時間帯は避ける
徒歩や自転車を積極的に利用

冠婚葬祭などの親族行事

多人数での会食を避ける 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

働き方の新しいスタイル

テレワークやローテーション勤務を
オフィスは密を避けて広々と
名刺交換はオンラインで

時差通勤で混雑を避ける
会議はオンラインで
対面での打合せでは換気やマスク着用を徹底